

~文化の風が吹くまち ちくしの~

文化 薰道



◆其の[田] | 十二

金色に込められた祈り

金色におぼゆく輝くの仏像は、大字柚須原のお堂に安置されていました。堂内の薄暗がりの中で浮かび上がる金色の姿は、地域の人たちの信仰心をかきたてたものと思われます。

仏像が金色なのは、仏の身体が金のように光り輝くとされる金色相(いんじやわい)と云う思想を表すためです。これは、仏がもつ32種類の身体的特徴(三十二相)の一つで、「利益のある存在であることを示しています。

柚須原の仏像は、CTSスキャンにより光背に年号が彫られていた



▲柚須原の木造聖観音坐像
(もくぞうしょうかんのんざぞう)

問文化財課

ひとと仏像の時代的特徴を表す造形がはつきりと透視できたこととで、今から約700年前に造られ、これまでに何度も塗り直されていました。仏像は表面の色があせたり剥落したりする、塗り直されたことが一般的であり、金色に輝く状態を維持することとは、信仰をつなぐ當みでもあります。つまり、信仰を受け続けてきたからこそ、今もなお金色に輝いているのです。

この像は現在、保存のため歴史博物館に保管されていますが、本来の場所を離れて地域の信仰の歴史を今に伝える存在であることに変わりはありません。

筑紫野市
公式SNS



フェイスブック



X(旧ツイッター)



LINE



Instagram

Chikushino No.1238

発行／筑紫野市 編集／秘書広報課 ホームページ／<https://www.city.chikushino.fukuoka.jp/>
〒818-8686 福岡県筑紫野市石崎一丁目1番1号 ☎092(923)1111 FAX092(555)7377

印刷／久野印刷株式会社
発行部数／45,300部